2026年11月5日

各　　位

会 社 名　三菱ケミカルグループ株式会社
代表者名　執行役社長　筑本 学
（コード：4188 東証プライム市場）

問合せ先
［報道関係］
コーポレートコミュニケーション室
TEL. 03-6748-7140
［IR関係］
IR室
TEL. 03-6748-7120

2027年３月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2026年５月13日に公表しました2027年３月期通期業績予想を修正しましたのでお知らせいたします。

記

１．2027年３月期通期業績予想(2026年４月１日～2027年３月31日)

	売上収益	コア営業利益	営業利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的１株当たり当期利益
	億円	億円	億円	億円	億円	円 銭
前回発表予想（A） (2026年５月13日発表)	38,000	3,050	3,000	2,000	1,270	93.48
今回修正予想（B）	40,600	3,400	3,280	2,220	1,450	106.72
増減額（B－A）	2,600	350	280	220	180	
増減率（%）	6.8%	11.5%	9.3%	11.0%	14.2%	
(ご参考)前期実績 (2026年３月期)	37,040	2,250	301	784	118	8.63

税引前利益　　前回発表予想　2,700億円　　今回修正予想　2,960億円

注）コア営業利益は、営業利益から非経常的な原因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出しております。

２．業績予想修正の理由

通期業績予想のコア営業利益は、５月13日発表予想比11.5%増の3,400億円を見込みます。スペシャリティマテリアルズセグメントでは、下期は熊本震災影響に加え、中東情勢の不安定化により生じた上期の一時的な需要増の反動による需要の弱含みが見込まれますが、半導体関連事業は引き続き好調で、期初予想を大きく上回る見通しです。MMA&デリバティブズセグメントでは、上期に一時的な市況回復はあったものの、中東における生産・供給体制への影響継続等により期初予想を下回る見通しです。ベーシックマテリアルズセグメントでは、海外安価品の流入による減販はあるものの、在庫評価益等により期初予想を大きく上回る見通しです。

コア営業利益の増加を受け、営業利益以降の各段階損益も５月 13 日発表の予想数値を上回る見込みです。

＜ご参考＞

セグメント別通期業績予想（コア営業利益）　（億円）

	今回修正予想	前回発表予想	増減額
スペシャリティマテリアルズ	1,180	900	280
MMA&デリバティブズ	100	110	△10
ベーシックマテリアルズ	110	△50	160
産業ガス	2,050	2,050	0
その他	△40	40	△80
合計	3,400	3,050	350

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上